



[参考文献]

- ・内閣府「平成30年7月豪雨による被害状況について」
- ・内閣府「令和元年台風第15号に係る被害状況について」
- ・国土交通省「バクさんが案内する鶴見川流域 BOOK」
- ・国土交通省「鶴見川多目的遊水地」
- ・気象庁リーフレット「雨と風」

[発行日]

令和2年 8月

[発行]

港北区役所総務課

[掲載内容に関するお問い合わせ]

港北区役所総務課 045-540-2206

〒222-0032

横浜市港北区大豆戸町 26-1

港北区



いつ避難すればいいの？



時の  
避難行動を  
考えよう

大雨のとき、  
どんな危険が  
あるんだろう？



港北区役所

## はじめに

港北区を西から東に蛇行して流れる鶴見川はかつて「暴れ川」と呼ばれ、幾度となく氾濫していました。平成15年に運用を開始した鶴見川多目的遊水地は、鶴見川の洪水を一時的に取り込むことで、周辺地域をはじめ下流域を洪水の危険から守り、運用開始以降、鶴見川の洪水に対する安全性が一層高まりました。

しかし、平成30年の西日本豪雨、令和元年の台風15号及び19号は、全国各地に大きな被害をもたらし、港北区においても改めて水害への備えの大切さを考える機運が高まっています。水害は、台風や大雨に関する情報などから事前に起こりうる災害を予測することが可能であり、早めの避難を心がけることで自分や家族の大切な命を守ることができます。

この冊子は、港北区民の皆様が、水害に備えて適切な避難行動等を実践していただくことを目的に作成しました。ぜひご活用ください。

令和2年8月 港北区役所



©横浜市港北区ミスキー

## 近年の水害

### 平成30年西日本豪雨の被害(全国)



#### 人的被害

死者 …………… 237名  
行方不明者 …… 8名



#### 住家被害

全壊 …………… 6,767棟  
半壊 …………… 11,243棟

(平成31年1月時点)



写真提供:国土交通省 中国地方整備局

各地で河川の氾濫や土砂災害が相次ぎ、多数の死者・行方不明者が発生しました。

### 令和元年台風15号(房総半島台風)、台風19号(東日本台風)の被害(全国)

#### 台風15号(令和元年10月時点)



#### 人的被害

死者 …………… 1名



#### 住家被害

全壊 …………… 219棟  
半壊 …………… 2,126棟

#### 台風19号(令和元年11月時点)



#### 人的被害

死者 …………… 98名  
行方不明者 …… 3名



#### 住家被害

全壊 …………… 2,806棟  
半壊 …………… 18,336棟

台風15号では長期間にわたる停電が続き、被災者の生活に大きな影響をもたらしました。台風19号では河川の決壊により大規模な浸水被害が発生しました。



出典:消防防災科学センター「災害写真データベース」

# 目次

## 1 港北区で想定される水害を知ろう!.....5

## 2 自宅などの水害リスクを ハザードマップで確認しよう! .....6

## 3 避難情報・避難場所について理解しよう!

- ① 警戒レベルと避難情報等について..... 7
- ② 水害時の避難場所について..... 9
- ③ 情報収集の方法 ～避難情報や避難場所情報を入手しよう～ … 12
- ④ 避難行動の流れ(警戒レベル3のとき) ..... 17
- ⑤ 避難行動の流れ(警戒レベル4のとき) ..... 18
- ⑥ 避難の際の注意点 ..... 19

## 4 マイタイムラインを作成しよう! .....20

### コラム

- ① 鶴見川多目的遊水地について..... 23
- ② 雨の強さと降り方..... 24



# 1 港北区で想定される水害を知ろう！

港北区で想定される水害は主に、洪水・土砂災害の2つです。

## 洪水



降雨により、川の水位が上がり、堤防から水があふれたり、堤防が壊れて水があふれる災害です。

## 土砂災害



降雨により、土に多くの水が染み込み、地盤が緩むことで、崖の斜面が崩れてしまう災害です。

### 参考



### 内水氾濫 (ないすいはんらん)

降った雨は、下水道や水路、道路側溝などを流れて河川に排水されます。大雨で下水道管や水路がいっぱいになってしまうと河川に排水できず、マンホールや雨水ます等から水があふれ、道路の冠水や家屋等への浸水を引き起こします。  
(内水ハザードマップも確認しておきましょう)

# 2 自宅などの水害リスクをハザードマップで確認しよう！

ハザードマップとは、災害が発生する可能性のある場所や避難場所などを示した地図です。次の2つのハザードマップで、大雨や台風の時に自宅などがどのような水害のリスクがあるのか確認しましょう。

## 洪水

### 洪水ハザードマップ

- 想定
- 計画規模の降雨(2日間で約405ミリを想定)
  - 想定最大規模の降雨(2日間で約792ミリを想定)
- ※例えば、令和元年の台風19号では、横浜市で313mm(24時間)の雨が降りました。

→降雨により川の水があふれたり、堤防が壊れた場合に浸水する可能性のある区域を示したマップ

自宅などの場所を洪水ハザードマップで確認したらチェック



(令和2年8月時点)

## 土砂災害

### 土砂災害ハザードマップ

→集中豪雨や台風に伴う豪雨により、崖崩れが発生した場合に被害が及ぶ可能性のある区域を示したマップ

自宅などの場所を土砂災害ハザードマップで確認したらチェック



(令和2年8月時点)

自宅などに水害のリスクがない場合には、避難の必要はありません。  
最新の気象情報や避難情報を確認しましょう。

## 各ハザードマップは以下の方法で入手できます

### 印刷物(紙媒体)



※無償提供

港北区役所1階正面入り口近く、  
または4階44番窓口

### データ(ウェブ)

横浜市行政地図情報提供システム  
「わいわい防災マップ」  
→住所を検索して確認できます。



横浜市ホームページで  
「防災の地図 横浜」と検索  
→各ハザードマップをPDFで閲覧できます。

### アプリ



港北区防災情報アプリ  
(詳細は14ページ参照)

# 3 避難情報・避難場所について理解しよう!

水害に関する情報は、区民の皆様にわかりやすくお伝えするため5段階の警戒レベルとともに発表されます。次の表を確認して、避難を開始するタイミングを決めておきましょう。

## ① 警戒レベルと避難情報等について

警戒レベル4で  
避難対象区域の方は全員避難です。

警戒レベル	レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	レベル 5
避難情報 等			避難準備・ 高齢者等避難開始 (発令者:区役所)	避難勧告 避難指示(緊急) (発令者:区役所)	災害発生情報
避難行動 等	災害への心構えを 高めましょう	避難に備え、ハザードマップ 等により、自らの避難行動を 確認しましょう	避難の対象の方で、避難に時間 を要する人(ご高齢者の方、障害 のある方、乳幼児等)とその支援者 は避難をしましょう。その他の人 は避難の準備を整えましょう。	避難対象区域の方は速やかに 避難先へ避難しましょう。避難場 所までの移動が危険と思われる 場合は、近くの安全な場所や、自宅 内のより安全な場所に避難しまし よう。	既に災害が発生している状況です。 命を守るための最善の行動を とりましょう。
大雨に関する情報	早期注意情報	大雨注意報	大雨警報		大雨特別警報
河川氾濫に関する情報		氾濫注意情報 洪水注意報	氾濫警戒情報 洪水警報	氾濫危険情報	氾濫発生情報
土砂災害に関する情報				土砂災害警戒情報	

## ② 水害時の避難場所について

水害時の避難場所は、**指定緊急避難場所** です。

**指定緊急避難場所**とは

災害から一時的に避難する場所で、避難情報の発令とともに開設されます。



〈指定緊急避難場所看板(令和3年度末までに設置予定)〉

避難場所として開設されたときは「開設中」、平時は「閉鎖中」と表示しています。

**指定緊急避難場所**は、区内の**地域防災拠点**の中から、災害の種類ごとに指定されています。

そのため、水害時は、すべての**地域防災拠点**が開設されるとは限りません!

また、地区センターなどの公共施設を開設する場合があります。

避難時には最新の避難場所情報を確認することが大切です!

→12ページをチェック!

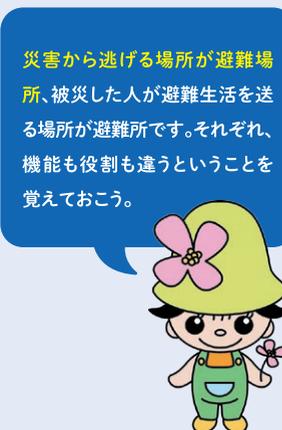
## 参考

**地域防災拠点** (指定避難所)とは

災害によって自宅に住めなくなった場合に避難生活をする場所で、横浜市域で震度5強以上の地震が観測されたときに開設されます。指定緊急避難場所(9ページ参照)としての機能もあります。

**港北区の地域防災拠点** (指定避難所)

港北区区内にある小・中学校のうち、28か所が地域防災拠点となっています。(令和2年8月時点)



〈地域防災拠点看板〉

**注意!! 避難場所・避難所は密集します!**

避難場所や避難所は、多くの避難者が集まるため、感染症拡大のおそれがあります。日頃から、安全な場所にある親戚や知人の家、宿泊施設等への避難を検討しておきましょう。



## 指定緊急避難場所への持ち物について

指定緊急避難場所では物資の提供はありません。避難時の持ち出し品は、日頃から準備し、すぐに持ち出せるようにしておきましょう。

CHECK

### 非常用持ち出し品リスト(例)

食料等



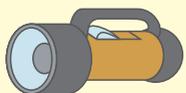
常備薬



持ち出し品は  
必要最低限  
にしよう!



懐中電灯



モバイルバッテリー



感染症対策物品



## 指定緊急避難場所までの移動について

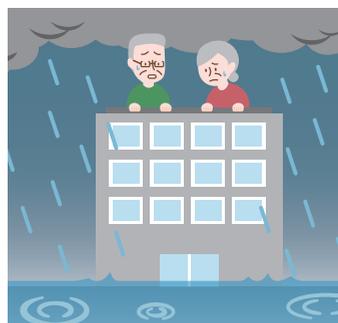
河川沿いや崖沿いの道は避けて避難しましょう。大雨により足元が非常に滑りやすくなっている場合があります。転落しないよう十分注意しましょう。



## 指定緊急避難場所までの移動が危険な場合

夜間や大雨の中での移動など避難場所まで行くことがかえって危険と思われる場合は、近くより安全と思われる建物(最上階が浸水しない建物や川沿いでない建物など)に移動しましょう。

また、土砂災害の危険がある場合は崖から離れた部屋に移動するのも避難行動の一つです。



## ③ 情報収集の方法 ~避難情報や避難場所情報を入手しよう~

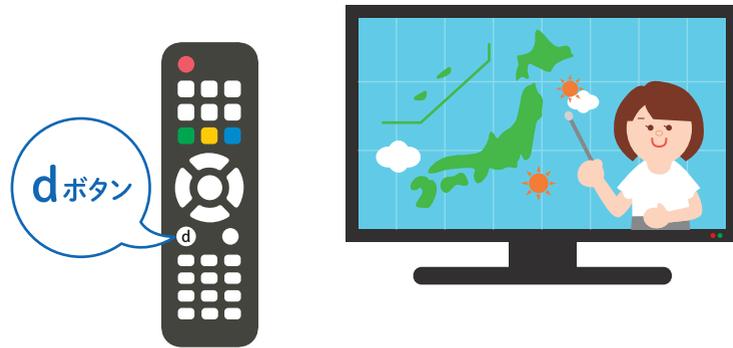
水害時は、行政等が発信する最新の情報を自分自身で常に収集することが、避難行動の第一歩です。港北区役所では水害に備えていただくために、様々な方法で情報発信をしています。

手段	発信者	登録必要の有無 (必要→○ 不要→×)
テレビのデータ放送(dボタン)	横浜市 区役所	×
横浜市防災情報Eメール	横浜市	○
横浜市ホームページ	横浜市	×
港北区ホームページ	区役所	×
港北区ツイッター	区役所	○
港北区防災情報アプリ	区役所	○
緊急速報メール(エリアメール)	神奈川県、横浜市 中央省庁等	△ (詳しくは15~16ページ参照)
広報車	区役所	×

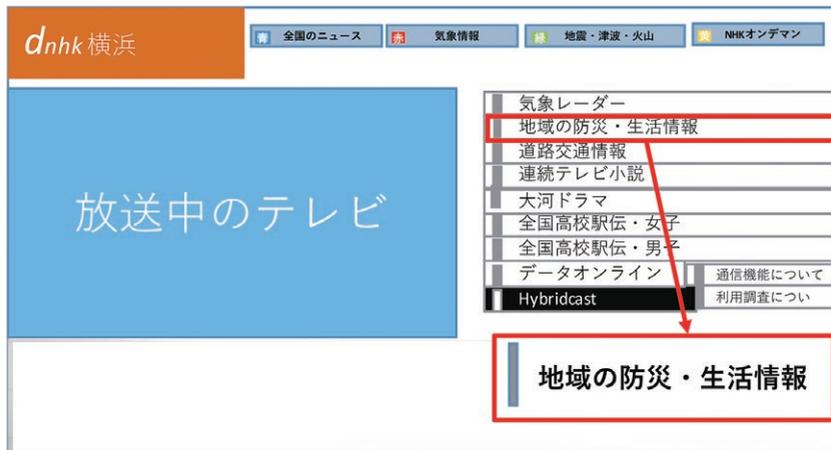
## 各手段の確認・登録方法

### (1) テレビのデータ放送 (NHKの場合)

1 テレビのリモコンにある「dボタン」を押します。



2 画面右にある「地域の防災・生活情報」をクリックします。



3 現在発令中の避難情報や開設中の避難場所、河川の水位情報等を確認できます。

### (2) 横浜市防災情報Eメール

防災情報Eメールをご登録していただくと、気象警報や河川水位情報、避難情報等がメールで確認できます。  
※受信する情報を選択することができます。



〈防災情報Eメールのサンプル〉

#### 【登録方法】

右のQRコードを読みとるか、下記メールアドレスに空メールを送信してください。



entry-yokohama@bousai-mail.jp

### (3) 港北区防災情報アプリ

トップページ上部に気象警報や避難情報、避難場所の開設等の情報が表示されます。  
※普段は表示されません。

「ハザードマップ」を開くと、開設中の避難場所を地図上で確認できます。また、近くの避難場所までのルート検索ができます。

#### 【アプリのダウンロード】



iOS



Android

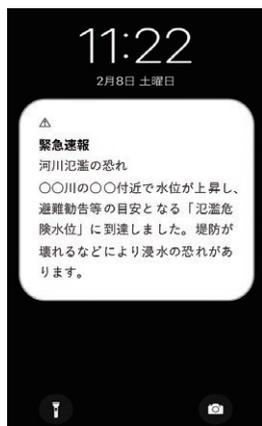


#### (4) 緊急速報メール(エリアメール)

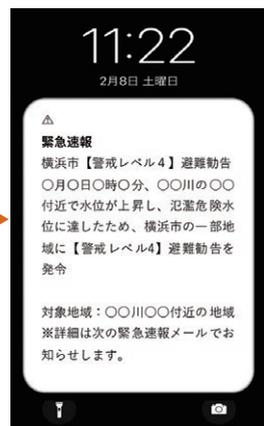
緊急速報メールは、携帯電話事業者が無料で提供するサービスで、避難勧告等の緊急性の高い情報を配信します。

#### 洪水の場合

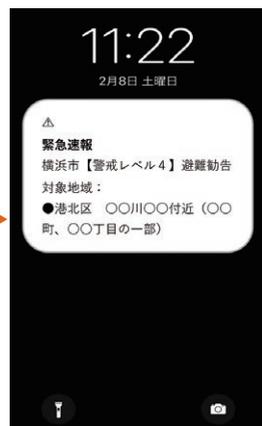
1通目  
国土交通省からの配信



2通目  
横浜市からの配信

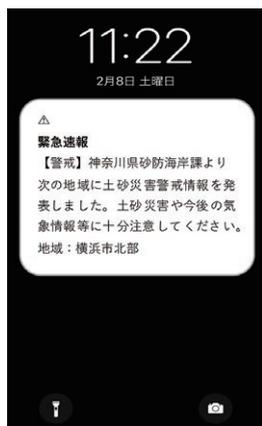


3通目  
避難対象区域

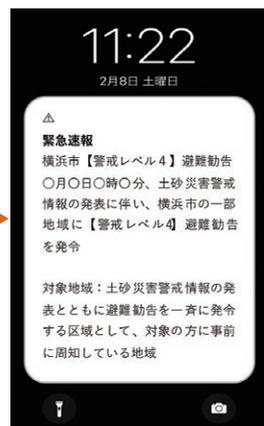


#### 土砂災害の場合

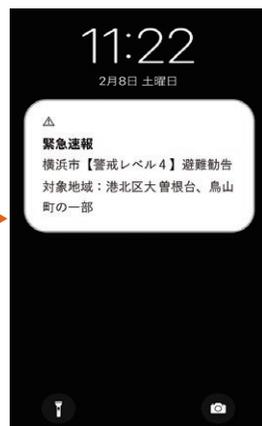
1通目  
神奈川県からの配信



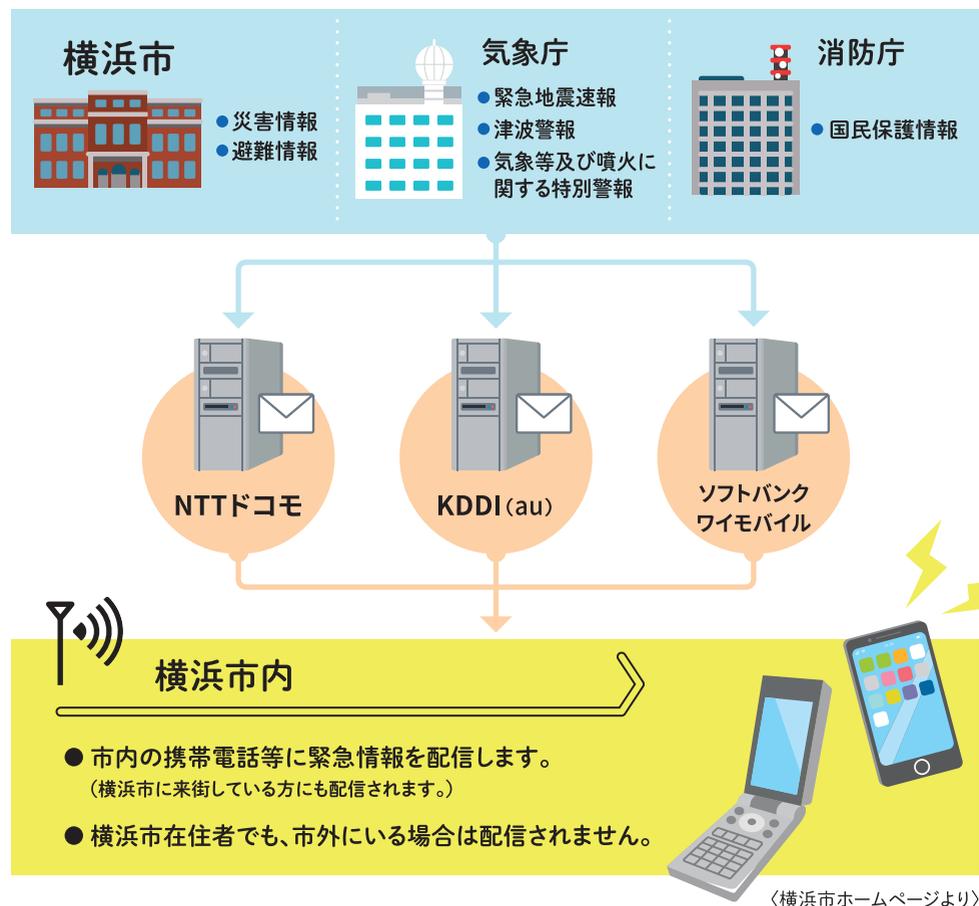
2通目  
横浜市からの配信



3通目  
避難対象区域



#### エリアメール配信の流れ



※ 配信の対象となる通信事業者は、NTTドコモ、KDDI (au)、ソフトバンク、ワイモバイルです。  
※ 基本的に登録は必要ありませんが、携帯の機種によっては受信できない場合があります。  
詳しくは各通信事業者にお問い合わせください。



**注意!!** エリアメールは避難が必要ない人にも配信されます。

**受信した際は、慌てず避難対象区域を確認し**

**安全な場所に居住する人は、在宅避難に努めましょう。**

#### 4 避難行動の流れ

#### 警戒レベル3 のとき

ハザードマップで災害のリスクがある区域の方は、避難の対象となる可能性があります。

**警戒レベル3**(避難準備・高齢者等避難開始)のときは、避難の準備もしくは避難に時間がかかる方は避難を開始します。



#### 5 避難行動の流れ

#### 警戒レベル4 のとき

**警戒レベル4**(避難勧告)で対象区域の方は全員避難です。



## 6 避難の際の注意点

### 無理をせず安全な避難を心がけましょう

夜間や大雨の中での移動など避難場所まで行くこと  
がかえって危険と思われる場合は、近くのより安全と  
思われる建物（最上階が浸水しない建物や川沿い  
でない建物など）に移動しましょう。  
また、土砂災害の危険がある場合は崖から離れた部  
屋に移動するのも避難行動の一つです。



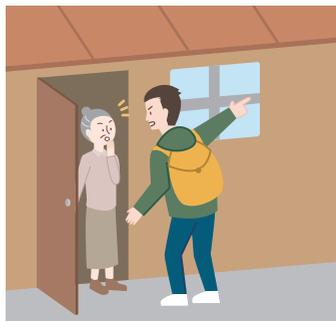
### 安全な経路で避難しましょう

河川沿いや崖沿いの道は避けて避難しましょう。大  
雨により足元が非常に滑りやすくなっている場合が  
あります。転落しないよう十分注意しましょう。



### 隣近所で声を掛け合いましょう

ご高齢の方、子供、障害のある方などは避難に時間  
を要するため、地域の皆さんで協力し安全に避難し  
ましょう。



# 4

## マイタイムラインを 作成しよう！

### マイタイムラインとは・・・

台風や大雨などこれから起こる可能性のある災害に対して、  
家族構成や生活環境に合わせて、  
「いつ何をするのか」を時系列でまとめたものです。



# マイタイムライン作成シート

ハザードマップでチェック		家庭の状況のチェック
あなたの住んでいる地域は？	住んでいる場所の洪水浸水深は？ 例：鶴見川、3～5m [            川、            m]	避難に支援が必要な人 (高齢者、障害者、乳幼児、妊婦など)
<input type="checkbox"/> 洪水浸水想定区域		<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有
<input type="checkbox"/> 土砂災害警戒区域		持病薬： <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有
		ペット： <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有

緊急連絡先		
【家族】	【知人】	【その他】
_____ :TEL _____	_____ :TEL _____	_____ :TEL _____
_____ :TEL _____	_____ :TEL _____	_____ :TEL _____

警戒レベル	レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	レベル 5
避難情報等			避難準備・高齢者等避難開始 (発令者：区役所)	避難勧告 避難指示(緊急) (発令者：区役所)	既に災害が発生している
大雨に関する情報	早期注意情報	大雨注意報	大雨警報	大雨特別警報	大雨特別警報
河川氾濫に関する情報		氾濫注意情報 洪水注意報	氾濫警戒情報 洪水警報	氾濫危険情報	氾濫発生情報
土砂災害に関する情報				土砂災害警戒情報	
避難に支援を必要とする方	<input type="checkbox"/> 家族やケアマネージャー等と避難手段の確認		<input type="checkbox"/> 家族等の支援を得て避難		<div style="border: 2px solid yellow; padding: 10px; text-align: center;"> <p><b>車避難</b></p>  <p>令和元年の台風19号では、車で避難中に道路の冠水や崩落で亡くなったケースが多くありました。車を活用した避難や要援護者の送迎については、早い段階で実施しましょう。</p> <p>※行政が開設する避難場所への車の駐車は原則禁止となります。</p> </div>
要援護者と同居している方	<input type="checkbox"/> 避難手段、タイミング等の確認		<input type="checkbox"/> 要援護者は避難開始		
ペットとともに避難する方	<input type="checkbox"/> 避難手段、タイミング等の確認 <input type="checkbox"/> ペット用非常持ち出し袋、ケージの確認(なければ用意) <input type="checkbox"/> 知人、ペットホテル等の一時預け先への相談	<input type="checkbox"/> 必要に応じて移動手段を検討(ペットタクシー、車送迎等)			
わたしの計画	<input type="checkbox"/> 避難をする相手先と連絡をとる、ホテルを予約する <input type="checkbox"/> 避難手段を確認		<input type="checkbox"/> 避難開始 <input type="checkbox"/> 開設避難場所の確認 <input type="checkbox"/> 戸締り、火元確認		
該当するものに <input checked="" type="checkbox"/> し、他に必要なものがあれば記載しましょう!	<input type="checkbox"/> 自宅の浸水する恐れのある場所に土嚢を置く		<b>私が避難する場所</b> <input type="checkbox"/> 親戚(            )さんの家 <input type="checkbox"/> 知人(            )さんの家 <input type="checkbox"/> 宿泊施設(            ) <input type="checkbox"/> その他(            ) <input type="checkbox"/> 指定緊急避難場所(            )		

-  屋外行動の禁止
-  屋内の安全な場所への避難
-  命を守る最善の行動をとる

# コラム

## ① 鶴見川多目的遊水地について

鶴見川はこれまで幾度となく大きな洪水に見舞われてきたため、昭和50年代から総合治水対策(河川整備・流域対策・下水道対策)が行われています。鶴見川多目的遊水地は総合治水対策のひとつです。

### 鶴見川多目的遊水地

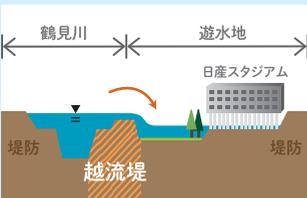
役割: 川の水位が上がった際に一時的に水を貯留することで、水があふれるのを防ぎます。普段はスポーツ施設、緑地、公園などとして利用できます。

総貯水量: 390万㎡(東京ドーム約3杯分)

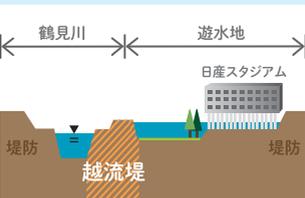


### 仕組み

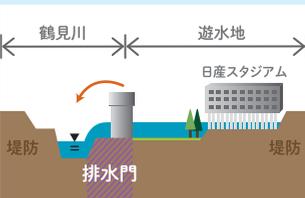
① 台風等で川の水位が上がると、一段低い越流堤から遊水地に水が流れ込みます。



② 遊水地に一時的に貯留します。



③ 川の水位が下がった後は排水門を使って貯留した水を少しずつ川へ戻していきます。



## ② 雨の強さと降り方

1時間雨量がどのような雨を降らすのか具体的なイメージをもち、突然の雨へ備えましょう。

1時間雨量 (mm)	雨の強さ	人の受けるイメージ	人への影響	屋内 (木造住宅を想定)	屋外の様子	車に乗っていて
10 〜 20	やや強い雨	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで足元が濡れる	雨の音で話し声がよく聞き取れない	地面一面に水たまりができる	
20 〜 30	強い雨	どしゃ降り	傘をさしても濡れる	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく		ワイパーを速くしても見づらい
30 〜 50	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る			道路が川のようになる	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる
50 〜 80	非常に激しい雨	滝のように降る(ゴゴと降り続く)	傘は全く役に立たなくなる		水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	車の運転は危険
80 〜	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある恐怖を感じる				

(気象庁「バンフレット」雨と風より)